

令和5年 仲卸業者の経営状況（概要）

【調査方法】

令和6年9月までに提出された仲卸業者の事業報告書（令和5年1月1日から令和5年12月31日までに終了した事業期間に係わるもの）をもとに、企業会計原則等に基づき修正し集計した。

サンプル数：834社（水産物 487社、青果物 286社、花き 37社、食肉 24社）

【ポイント】

○ 1社当たりの売上高は8.9%増加、増収業者の割合は66.4%→74.3%と増加

＜取扱品目別1社当たり売上高の増減＞

	令和4年	令和5年	対前年比
全 体	100,167 万円	109,063 万円	108.9%
水 産 物	53,195 万円	63,741 万円	119.8%
青 果 物	155,806 万円	159,353 万円	102.3%
花 き	101,558 万円	108,433 万円	106.8%
食 肉	403,728 万円	430,413 万円	106.6%

○ 営業損益及び経常損益の黒字計上業者の割合はいずれも増加

- ・ 売上総利益率では全体の49.3%の業者が上昇し、前年（34.6%）に比べ、その割合は増加した。
- ・ 営業損益では黒字の業者が全体の33.3%→53.0%、経常損益では黒字の業者が全体の52.3%→68.1%と、いずれも前年に比べその割合は増加した。

○ 借入金比率は48.8%→44.8%と推移

- ・ 全体の10.0%（前年8.9%）の業者が無借金経営をしている一方で、25.7%（前年29.2%）の業者は借入金比率が100%を超えており、債務負担は依然として大きい。

＜取扱品目別の借入金比率＞

	令和4年	令和5年	増減
全 体	48.8%	44.8%	△4.0%
水産物	60.6%	56.6%	△4.0%
青果物	38.4%	34.0%	△4.4%
花き	42.0%	43.0%	1.0%
食肉	54.6%	50.8%	△3.8%

○ 「経営の健全性に関する指標（※）」に該当する業者割合は減少

（※）経営の健全性に関する指標

①流動比率 100%未満、②自己資本比率 10%未満、③3期連続経常損失のいずれかに該当

- ・ 「経営の健全性に関する指標」に該当する業者は全体で前年 467 業者（57.9%）→415 業者（52.6%）と、前年より 5.3 ポイント下回っている。

<指標該当業者数>

	いずれかの 指標に該当する 業者数	指 標			全ての指標 に該当	調査対象 業者(注)
		流動比率 100%未満	自己資本比率 10%未満	3期連続 経常損失		
全 体	415 業者[52.6%] (467 業者)	170 業者 (176 業者)	359 業者 (383 業者)	164 業者 (226 業者)	66 業者 (74 業者)	789 業者 (806 業者)
水 産 物	276 業者[59.1%] (309 業者)	124 業者 (124 業者)	237 業者 (253 業者)	124 業者 (163 業者)	51 業者 (57 業者)	467 業者 (477 業者)
青 果 物	113 業者[43.1%] (131 業者)	40 業者 (45 業者)	97 業者 (106 業者)	39 業者 (59 業者)	14 業者 (15 業者)	262 業者 (268 業者)
花 き	19 業者[52.8%] (21 業者)	5 業者 (6 業者)	18 業者 (18 業者)	1 業者 (4 業者)	1 業者 (2 業者)	36 業者 (37 業者)
食 肉	7 業者[29.2%] (6 業者)	1 業者 (1 業者)	7 業者 (6 業者)	0 業者 (0 業者)	0 業者 (0 業者)	24 業者 (24 業者)

(注) 令和3年、令和4年、令和5年の3期連続して事業報告書が提出された業者

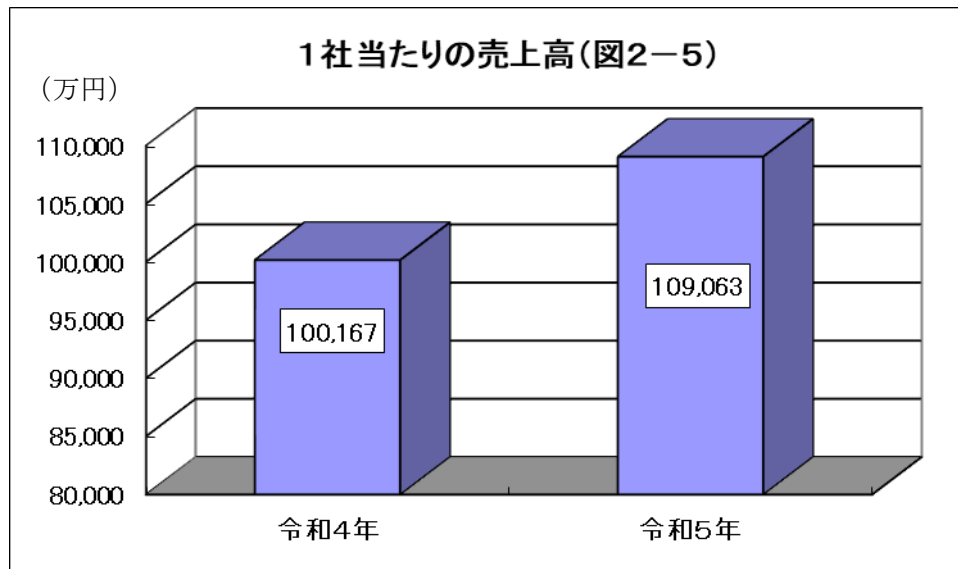
※ []内パーセンテージは全体又は取扱品目ごとの調査対象業者に占める上記指標該当業者の割合

※ 下段（ ）内は前年の調査結果

【概要】

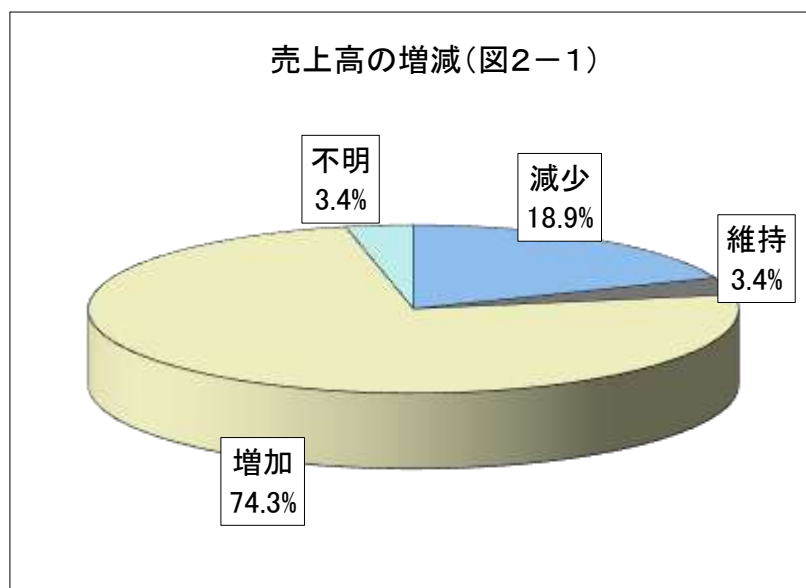
1 1社当たりの売上高は増加

仲卸業者全体の1社当たりの売上高は、前年の10億167万円から10億9,063万円と、8,896万円（8.9%）増加した。
取扱品目別にみると、前年に比べ、全ての品目で増加した。



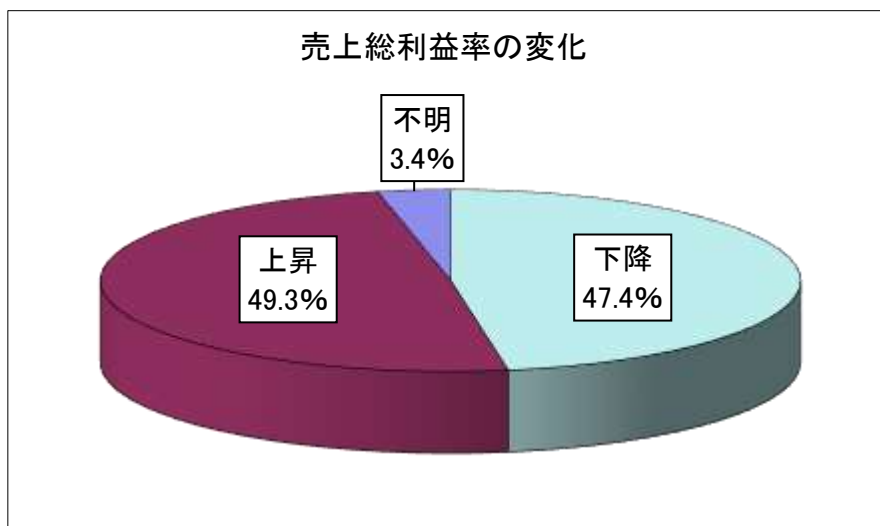
2 売上増加となった業者の割合が増加

売上高が増加した業者は、全体の74.3%（前年66.4%）であった。取扱品目別に増加した業者の割合をみると、水産物は84.8%（前年71.1%）、青果物は59.4%（前年57.0%）、花きは56.8%（前年81.6%）、食肉は66.7%（前年58.3%）となっており、水産物、青果物及び食肉において増収となった業者の割合が前年と比べ増加した。



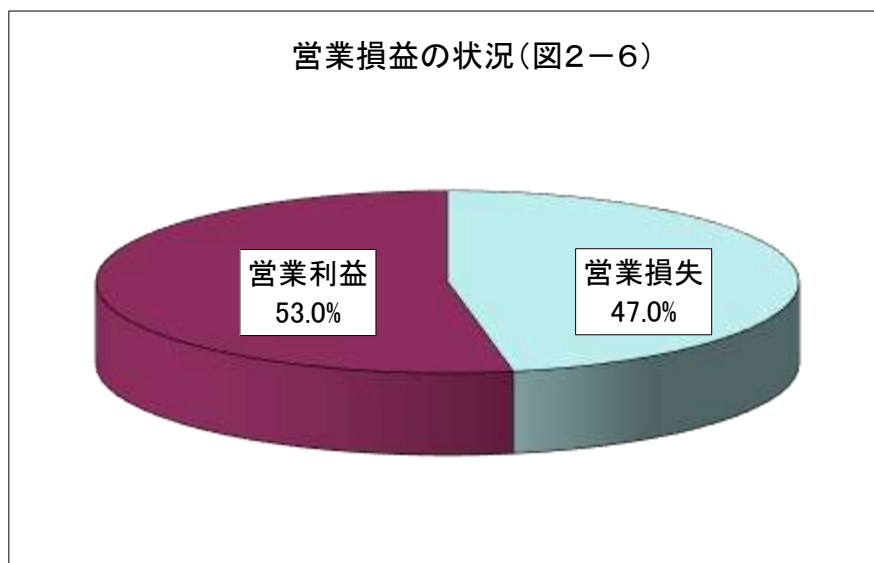
3 売上総利益率は上昇した業者が下降した業者をわずかに上回る

売上総利益率が上昇した業者は全体で 49.3%と下降した業者をわずかに上回った。取扱品目別に売上総利益率が上昇した業者の割合をみると、水産物は 45.0%、青果物は 53.5%、花きは 51.4%、食肉は 83.3%と、青果物、花き及び食肉では上昇した業者数が下降した業者数を上回り、水産物では下降した業者数が上昇した業者数を上回った。



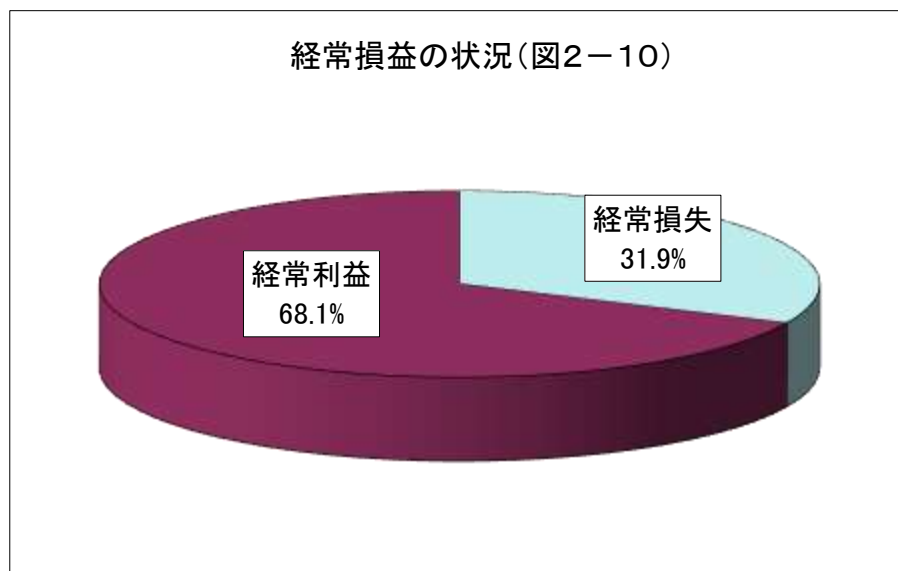
4 営業損益は黒字計上業者の割合が増加

営業利益(黒字)を計上した業者の割合が 53.0% (前年 33.3%)、営業損失(赤字)を計上した業者の割合が 47.0% (同 66.7%) となり、前年に比べ黒字となった業者の割合が増加した。取扱品目別にみると、青果物、花き及び食肉では半数以上の業者が黒字となり、水産物では半数以上の業者が赤字となった。



5 経常損益は7割弱が黒字計上

経常利益(黒字)を計上した業者の割合は 68.1%、経常損失(赤字)を計上した業者の割合は 31.9%と、前年に比べ黒字業者の割合が 15.8 ポイント上昇した。前年と比較すると、水産物(前年 44.0%→当年 62.0%) (以下同様)、青果物(62.6%→76.9%)、花き(63.2%→67.6%) 及び食肉(83.3%→87.5%) と全ての品目で黒字業者の割合が増加した。



6 借入金比率 100%以上の業者の割合は 29.2%→25.7%と減少

借入金比率別にみると、無借金経営(借入金比率 0%)の業者が 83 社(10.0%)あった。一方、借入金比率 100%以上の業者が 214 社(25.7%)あり、前年(29.2%)に比べるとその割合は減少した。

また、取扱品目別にみると、借入金比率が 100%以上の業者の割合は、水産物では 30.2%、青果物では 21.0%、花きでは 16.2%、食肉では 4.2%であった。

